

(別記様式第15号)

令和3年度県民協働による里山整備・利活用事業進捗状況報告書

事業 主体名	飯沼自治会 里山環境整備プロジェクトチーム 実務者(説明者)氏名： 芦田 昌貴
-----------	--

No.	事業項目	事業名
7	森林を支える豊かな地域づくり	県民協働による里山整備・利活用事業
事業費		1,406千円 (うち森林づくり県民税： 1,180千円)

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

日常生活の変化により住民が里山に入らないこと、木材価格の低迷や化石エネルギーの利用拡大等により、里山と人との絆が途切れ、森林は放置され、手入れが遅れ、荒廃が進んでいる。

(2) 本事業の目的

日常生活の変化や森林所有者の後継者不足等により、森林管理の空洞化が深刻さを増していることから、地域住民が協働で里山の整備や森林資源の多面的利活用を進めることで、人と森林との関係を再構築し、自律的・持続的な森林管理体制を築くことが目的とされている。

当地区では、里山の整備や里山公園づくり、キノコの原木や薪の生産活用により、途切れかけた里山と地域住民の絆の再構築を図る。

事業内容

(1) 実施場所 上田市生田 飯沼自治会北側の飯沼神社林を中心とした里山 207.6ha

(2) 対象者 飯沼自治会住民

(3) 実施方法 里山環境整備プロジェクトチーム他自治会役員及び自治会住民の協働による里山の整備や伐採木の活用

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(令和元年度～令和3年度)

B 事業実施中

令和3年度事業計画

1.キノコの原木・薪の生産活動

2.沢筋の洗掘防止のため間伐材を利用した丸太柵の設置

3.里山公園整備

4.森林内の見回り及び維持管理・環境保全活動

②令和3年度進捗状況

B 事業実施中

里山公園の桜の植栽及び、森林内の見回り・林道維持・松茸山下草刈り等は実施しているが、本格的な事業実施については秋以降の予定

里山公園整備



事業効果

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

- ・キノコの原木・薪の生産活動により、里山に生育する樹木の恵みを再認識するとともに、適時伐採を行うことによる樹木の育成の促進が図られる。
- ・沢筋への丸太柵設置により、降雨時の沢筋の洗掘と下流への土砂の流出を抑え、森林の荒廃を防ぐとともに、住民の安全な生活が守られる。
- ・荒廃した里山を公園として、幼・小・中学生の学習の場や住民の憩いの場所として整備し、里山に対する関心を高めるとともに、広く情報発信することにより、里山の大切さの再認識が図られる。
- ・森林内の見回り維持活動を行い、里山の環境保全が図られる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

荒廃を防ぐため、今後も継続して森林整備を続けるとともに、地域住民の憩いの場や学童の里山の生態、植生の学習の場としての公園整備、伐採木をキノコの原木や薪への活用を進める。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

- ・当地区の里山整備活動が、ラジオや地元ケーブルテレビ、上田市広報等で取り上げられ、また、長野県主催の森林研修会等の場としても活動内容を紹介しており、活動に対する住民の認知度が高まってきた。
- ・里山の整備活動が住民に認知され、住民や保育園等から里山公園の早期完成を期待する声が高い。
- ・キノコの原木や薪の生産活動を通じて、昔は生活利用されていたナラやクヌギ類の広葉樹の利活用について、再認識が進んでいる。
- ・里山整備利用地域の整備をきっかけとして、森林整備の機運が高まり、「みんなで支える里山整備事業」で森林組合により約40haの森林整備を実施した。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

(2) 課題

(3) 次年度以降の取組方向

事業を現行どおり継続する (今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する (見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業の制度等に対する要望等

○